

會社側の能心度

四龍業團の切り出しに全力を注ぎ急告と題し善良なる諸君の幸福を祈ると云ふ宣傳のうを布めに散布す。

十四日 會社元表の市議日報

一 十三日午後二時より鐵工部ビアリ部従業員計五十四名に福徳會積立金一千七百五十円を支拂ふ。本日引續き支拂が豫定。

一 十三日午前六時從業員の出勤を阻止せし工務橋身に争議團員多数集り合し不穩の氣配あり此を以て直ちに散らばりより解散を命じられ在り七名檢束せられたり。

一 徒勞十五名 程房宿舎ト立替りて出勤せしと虚偽

宣傳をなす者あり、徒勞等は争議團の執拗なる勤務を排し、争議に與せたりしを以て此の虚報を傳へんとす。あり。

一 去る十一日夜、法松署ト三ヶ所より電話を以て争議團の暴徒未離れせりと通知するものあり。即刻現場に散る官為行せり。傍者の男、状なかりし。或いは争議團側の男、虚報ならんとす。

一 罷業中白袋のに数名宛、集令し出勤せんとする者漸次考へ、殊に郡部方面に多数あるもの、状況なるを以て、争議團幹部は遠かに郡部方面に活動を開始し、演説會其の他の方法を以て出社を妨害せんと策動しつゝあり。